

江東区議会議員

鈴木あやこ

江東区議会 民政クラブ 会派レポート

- 議会報告
- 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafe」開催案内
- 鈴木あやこの議会質問

【鈴木あやこプロフィール】

江東区猿江・潮見を経て、豊洲在住。早稲田大学大学院修了。

NTTドコモ勤務を経て、2011年初当選。現在3期目。

日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」3回受賞。

★所属委員会（2021年度）

厚生委員会 委員長／医療・介護制度特別委員会 委員

マニフェスト大賞 副実行委員長

★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き

鈴木あやこ
ホームページ



鈴木あやこ
YouTubeチャンネル



江東区 新型コロナウイルス
関連情報



2022年
(令和4年)
5-6月号
Vol.92



● 江東区議会 令和4年第1回臨時会 開催報告

江東区議会令和4年第1回臨時本会議が5月24日に開催されました。議長は山本香代子議員、副議長は石川邦夫議員に選挙の結果決まりました。委員会構成なども決定しました。

鈴木あやこは、今年度は企画総務委員会と、今年度から新しく設置される「地下鉄8号線延伸・交通対策推進特別委員会」に所属することになりました。6月からは、区議会第2回定例会が開催予定です。江東区の区民福祉の向上と、新しいまちづくりに向け、尽力してまいります。



江東区議会 民政クラブ所属議員

毎月開催！ あやこcafe (鈴木あやこ区政報告座談会)

江東区のまちづくりや議会に関する情報について皆様とざっくばらんに対話する気軽な区政報告座談会
「あやこcafe」を初当選から11年間毎月欠かさず（合計132回）行っています。

現在はコロナ対策のため、オンラインで開催しています。

最新の開催状況は鈴木あやこホームページや各種SNSによりお知らせいたします。はじめての方もぜひお気軽にご参加ください！

これまでの開催記録や詳細はあやこcafeのページ（QRコード参照）にてご確認ください。



耳で聴く情報発信「ほぼ週刊あやこcafeラジオ」はじめました！

江東区のまちづくり、区議会のことをわかりやすくお伝えするため、音声による区政情報発信「ほぼ週刊あやこcafeラジオ」を5月から開始。約10分間、毎週1回、YouTube版、インターネットラジオStand FMで配信します！

お手持ちのスマホやPCから、お気軽にお聴きください！

5月の放送内容

- 第1回 区議会議員になった理由は？
- 第2回 コロナ対策最新情報（あやこcafe紹介）
- 第3回 江東区の受動喫煙問題（あやこcafe紹介）
- 第4回 江東区こどもプラザの充実ぶりを解説！
- 第5回 備蓄食品レシピ紹介&水害ハザードマップの見方



You Tube

Stand FM



鈴木あやこの議会質問(2022年3月 予算審査特別委員会)

公園の維持管理について(総務費)



① 区立公園全面禁煙化について

(1) 全面禁煙化以降の区の取り組みと、区民からの反応・苦情件数等について

区立公園の全面禁煙化が今年の1月から開始された。公園内の喫煙に悩んでいた地域住民からは歓迎する声が多く、効果が期待されている。「公園内禁煙」の立看板の設置や職員の定期パトロールなど、様々な取り組みを実施していることは評価している。

[答弁]

禁煙化以降の区の取り組みとしては、禁煙看板を工事中の区立公園等を除く169公園に合計670基の看板設置を実施。

1月からは喫煙の陳情が多い公園を中心に、職員によるパトロールを実施している。

公園禁煙化後、1月・2月の喫煙に関する苦情件数は、48件。区民の方からは公園禁煙化に賛成するという意見が多いが、なお、喫煙者がいるという苦情もいただいている。

(2) 公園の全面禁煙化以降、公園外(すぐ近く)での喫煙をする方の苦情は依然としてあるがその現状と対応について

[答弁]

公園に隣接する道路での喫煙者についても公園パトロールの際タバコを吸わないよう指導を行っている。



② LINEを活用した道路や公園等の通報システムについて

LINEを活用して、道路や公園の不具合をスマートフォンなどから通報できるシステムの導入について伺う。

23区では渋谷区や目黒区、全国的には福岡市などで導入されている公園の通報受付では、ベンチ・遊具・照明灯、道路では、車道・歩道・ガードレール・街灯など、土木分野全般に適用可能である。福岡市が公表した調査結果によると、導入後は、通報にかかる市民の手間が減るとともに、職員の「必要情報を収集し直す」「通報内容の整理」などの作業の手間を省くことができ、情報の収集や整理にかかる時間の削減が実現できたとのことである。

江東区においてもLINEユーザーはすでに5万8000人おり、新たにアプリを入れたりすることなく多くの区民がスマホから気軽に利用できるため、区民の利便性向上にもつながる。

LINEによる通報システムを本区でも導入してはどうか。伺います。

[答弁]

東京都においては、My City Reportというアプリを用いた道路通報システムの試行を実施している。葛飾区や港区なども参加していると聞いている。施設保全課では、アプリに参加している葛飾区に利用状況について聞き取りを行うなど、状況を注視しているところである。

アプリを利用した通報システムにつきましては、より多くの人にダウンロードしてもらうことが重要だと考えている。

江東区では広報広聴課にてラインを用いた情報提供をすでに行つており、LINEアプリはすでに多くの区民の方がお持ちだと思うので、今後ラインを利用した通報システムの導入について検討していく。



渋谷区のLINE通報システム
画面イメージ



③ AIやIoTを用いた公園の管理運営（パークマネジメントやスマート公園の取り組みについて）

公共施設の管理運営の効率化のため、都市公園においてもAIやIoTを活用した管理運営手法が注目されている。スマートシティの実現の一環として、ICTを活用した公園のスマート化の取り組みなども奈良県の「平城京跡歴史公園」や「新宿中央公園」など国内で実証実験として始まっている。

東京都においても「未来の東京戦略ビジョン」「スマート東京実施戦略」などの戦略ビジョンの中で、スマートシティの実現を目指しており、その中でICTを活用した「スマート公園」の取り組みなども目指すこととしている。

AIやIoTを活用した公園の管理運営の適用分野としては、「アプリによる施設の不具合通報」、「ロボットによる自動芝刈り」「携帯電話基地局データによる利用者実態の把握」「QRコードによる公園内の外国語対応」など様々なものがある。

今後、江東区の公園の管理運営において、AIやIoTを活用した取り組みを進めていくことは、管理業務の効率化や公園利用者の利便向上、公園の魅力創出にも役立つものと考える。

特に豊洲ぐるり公園や、現在パークPFIによる管理運営手法を検討中の若洲公園など臨海部の公園や、将来的に整備が期待される海の森地区への活用などへ導入してはどうか。区の見解を伺う。

【答弁】

AIやIoTを活用した公園管理については、現在国や都が行っている取り組みは、実証実験の段階と認識しており、取り組みを注視している。

豊洲ぐるり公園においては、指定管理者が駐車場データーサービスを導入。これは、手持ちのパソコンからWeb経由で「いつでもどこでも」駐車場の状況が確認できるほか、売り上げの推移や稼働状況のグラフ化などができるシステムである。

今後も、豊洲ぐるり公園や若洲公園などにおいて、指定管理者と共に新たな取り組みについて検討する。



● 地域の課題解決事例 ●

東雲橋のたもとの私設喫煙所の受動喫煙問題 解決へ

豊洲地域の住民の皆様から、受動喫煙の観点から要望の強かった、東雲橋（豊洲と東雲をつなぐ橋）のたもとの私設喫煙所の状況が改善しました。数年来、区民からの喫煙の苦情が一番多い場所でもあり、「区長への手紙」にもたくさんの声が寄せられていました。

この場所は、私自身も物件所有者の方や江東区の関係部署などに対し、継続的に状況改善のための働きかけを行っていました。

江東区・東京都第5建設事務所・物件所有者への働きかけなどの結果、この場所でのタバコの自販機の販売停止、灰皿の撤去が行われ、受動喫煙の苦情がほぼなくなりました。

引き続き、受動喫煙防止に向けた取り組みを進めてまいります。



1年前（解決前）の様子



解決後（2022年4月現在）の様子

江東区、待機児童ゼロを達成！

江東区では、令和4年度の待機児童数が昨年の4人から4名減少し、0人となり、待機児童解消となりました。

これまで、江東区は人口急増による児童数の増加で、ピーク時の平成29年には322人の待機児童があり、保育園に入りづらい深刻な状況でしたが、積極的な保育施設の整備による定員増や、居宅訪問型保育事業や保育ナビゲーターによる保育サービスの情報提供など様々な施策を行い、待機児童ゼロを達成しました。

鈴木あやこは、「待機児童の解消」を最重要政策として推進しており、議会質問や関係各所への働きかけ、保護者への保育園の入園相談などを行ってまいりました。今後も待機児童ゼロの継続や、保育の質の向上などを推進し、「子育てしやすい江東区」を実現してまいります。



地下鉄8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉間）いよいよ事業化へ！

江東区では「地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定します

2022年3月28日、東京メトロが行っていた地下鉄8号線（有楽町線）延伸（豊洲～住吉間）の鉄道事業許可申請が、国土交通大臣から許可されました。

これを受け、地下鉄8号線の延伸が2030年代半ばの開業を目指し、事業着手されることとなりました。

地下鉄8号線の豊洲以北への延伸については、1972年に国の都市交通審議会で答申されてから、江東区・江東区議会をはじめ、沿線の自治体や議会が連携し、沿線住民の方々の協力を得て実現に向けた活動を行ってまいりましたが、50年の時を経て、ついに実現に至りました。

これにより、江東区において長年の課題だった南北の交通アクセスの不便さが解消され、区の既成市街地と臨海部の地域交流が進むことが期待されます。

完成までには10年以上を要する大事業となります。江東区では、地下鉄8号線の整備に合わせて沿線地域のまちづくりを進め、整備効果を区全体に広めていくこととしています。



【江東区の今年度の動き】

江東区では、地下鉄8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～住吉間）を見据え、沿線地域の目指すべき将来像をまとめる「（仮称）地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定します。

構想策定にあたり、地域の意見を十分に反映させるため、沿線全体・各駅周辺（豊洲駅・新駅①・東陽町駅・新駅②・住吉駅）の目指す姿など将来のまちづくりの方向性を話し合うワークショップを7月から9月まで行っています。

（2つの新駅の駅名、場所については5月20日現在未定となっています）

江東区ホームページで6月16日までワークショップ参加者を募集します。詳しくは江東区のホームページや区報などを御覧ください。

鈴木あやこは、本年度新設された「地下鉄8号線延伸・交通対策推進特別委員会」に所属します。地域の皆様方の声を沿線まちづくりに反映させるべく、取り組んでまいります。

江東区のこども・子育て関連施設が続々オープン！

都市開発が進み、江東区では、商業施設やマンション開発などが区内各地で続いているあります。

子育て世代がさらに暮らしやすいまちづくりを実現するため、江東区では子育て支援施設をさらに充実させています。

今年度オープンした新しい施設について、区議会で竣工視察（内覧）に行ってきましたので、紹介します。

●亀戸子ども家庭支援センター（亀戸）

シンボルツリーやボールプール、木製遊具など、ぬくもりのある開放的な空間で遊べるほか、子育て相談やイベントなども充実しています。

第2亀戸小学校や、新しくオープンした商業施設「カメイドクロック」とも近接しており、豊川河川敷公園も近く、便利な環境にあります。



竣工視察の様子

木のぬくもりのある明るい空間

●江東区こどもプラザ（住吉）

こども家庭支援センターと図書館、多目的スペースや地域交流スペースなどが一体となった複合施設です。

住吉の旧児童会館と白河のこども図書館が移設し、新設されました。

①住吉子ども家庭支援センター

明るく木目調の室内で、親子がのびのび過ごせる子育てひろばやリフレッシュひととき保育、子育て相談ができるコーナーが揃っています。

②江東区こどもプラザ図書館

図書館は静かに読書や学習をするところ、という既成概念を打ち破り、こどもたちが「おしゃべりできる図書館」をコンセプトとしています。乳幼児から高校生までの世代をメインターゲットとしており、児童書や中高生向けの書籍の他、名探偵コナンやこち亀などマンガが充実しています。1階には新聞雑誌の閲覧や、図書の予約や閲覧ができる図書コーナーがあり、こども以外もご利用できます。



開所式の様子



こども図書館